

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R7(2025).2.21

No.18

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市HP→上段「暮らし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

令和6年度学力向上シンポジウム①～学力向上とは～

○テーマ 「個別最適な学びと協働的な学びの充実～主体的に課題を解決する力の育成に向けて～」

○とき 1月31日(金)13:10～ ○会場 アクリエひめじ(大ホール)

※詳細は、**県教委義務教育課のHP**をご参照ください!

講演 **子どもたちの生きる未来の姿から「学力」向上を考える** ※記載内容は一部です

文部科学省初等中等教育局教育課程課 学校教育官 岩岡 寛人 氏

テーマ! 「学力向上」のとらえ

- 1 「生きる力」…将来の社会のあり方に応じて変わりうるもの
- 2 Society5.0…子どもたちの時代。どんな時代?どうして変化が速くなっていくの?
Society5.0を生み出すテクノロジー…①AI・ビッグデータ(頭脳の限界を超える)
②ロボティクス(身体限界を超える)
③高速インターネット(空間の限界を超える)
- 3 AIやロボティクスにできないこと…未来の社会をよりよく考えたり、答えのない問いについてチームで対話をしながら納得解を生み出したり、そのために何を、どのように学習すればよいかを決めたりする。また、AIが出したもっともらしい「答え」が正しいか判断する。→**資質・能力中心の学び**
- 4 「情報」=「知識」ではない…AIやキカイは大量の情報を出せるが「意味」「目的」は人間が与えるもの
「情報を覚える」学びから「意味を理解して使いこなす」学びへ
【例】**情報**:一次関数の解き方やグラフの解き方を覚えている。
意味:知らない数字があっても、一緒に変化する別の数学との関係が分かれば予想できるんだよね。
特に直線的に変わる数字だったら、一次関数を使って予想できるよね。
使いこなす:毎月3500円貯めると決めた時の将来の貯金額をエクセルで整理できる。
- 5 「意味」は先生や教科書に与えられるものではなく**一人一人の頭の中で創られるもの**。
自分で主体的につかんでいかないと得られない。

◎すべての子どもに、「資質・能力」の育成を保障していく。

→そのための仕組みや方法を考えることを「学力向上」と言いたい。

「学びのデジタルガイド」って?

★令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえ、「学びのデジタルガイド」(「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科特有の「見方・考え方」を働かせる授業改善の指導事例集)に事例を追加しています。取り上げた事例の学びと日常生活を結びつける児童生徒向け「学びのデジタルガイドプラス」にも事例を追加しています。

★二次元コードからダウンロードし、先生方は指導力向上に、児童生徒のみなさんは学力向上にぜひお役立てください。

